

ザンガディクス (1991)

XANGADIX
THE JOHNSONS
DE JOHNSONS [オランダ]

メディア 映画
ジャンル ホラー
製作国 オランダ／アメリカ
色彩 Color
時間 98分
初公開日 1995/10/13
公開情報 アイエム

【解説】
近頃、デンマークやオランダなど北欧産のホラーに注目が集まっているが、本作も92年のアヴォリアッツ国際ファンタスティック映画祭で入賞を果たした、ハリウッドやイタリア製とは一味違ったオランダ発の伝奇ホラーである。
14歳の誕生日を迎えようというエマリーは幼い時分に父を亡くし、フリー・カメラマンをしている母と二人暮らし。彼女は毎夜同じ悪夢に悩まされており、それは7人の子供が人を殺しその地で壁に謎のシンボルを描いているという、ミステリアスなものだった。精神科医はそんな彼女を、初潮がまだなため情緒不安定なのだと診断。母は念願の野鳥を追う撮影企画にエマリーも同行させ、気分転換を図らせる。と、同じころ、文化人類学教授ケラーは自分が教鞭を執る大学の倉庫で、偶然、驚くべきフィルムを発見するが、それはアマゾンの奥地に住むマクチシュ族の調査資料で、記録者である博士は謎の死を遂げていた、と知る。そこにも写っていた、あのシンボルの意味するものは“ザンガディクス”＝部族の崇拝する邪悪神。それがエマリーと彼を結び付け、やがて、少女は運命の初潮を迎える……。十分に張られた伏線のおもしろさに比べ、後半の急転直下の展開にもろさがあるが、クライマックス・シーンの造形も秀逸で、この手の作品のファンでなくとも楽しめる内容になっている。

【クレジット】		
監督	ルドルフ・ヴァン・デン・ベルフ	Rudolf van den Berg
製作	クリス・ブローワー	Chris Brouwer
	ヘイグ・バリアン	Haig Balian
製作総指揮	アーノルド・ヘスレンフィールド	Arnold Heslenfeld
原案	ロイ・フランケス	Roy Frumkes
脚本	レオン・デ・ウィンター	Leon de Winter
	ロッコ・シモネッリ	Rocco Simonlli
撮影	テオ・ビールケنز	Theo Bierkens
音楽	パトリック・シーモア	Patrick Seymour
出演	エスミー・デ・ラ・ブレトニエール	Esmée de la Bretonière
	モニク・ヴァン・デ・ヴェン	Monique van de Ven
	ケネス・ヘルディガイン	Kenneth Herdigein